

2024年度（令和6年度）

事業報告書

学校法人 倉橋学園

四日市情報外語専門学校

Yokkaichi College of Information&Languages

四日市情報外語専門学校 令和6年度 事業報告書

1. 教育基本方針

校訓 「知・心・技」

本学は開学以来掲げている、校訓「知・心・技」を全学生に説き、知識と技能の習得だけでなく利己を超えて、他人のため世のために役立つ心を大切にする、個性ある立派な人間として自己を磨き上げることが主とする教育指導を行う。

2. 教育の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、国際化・情報化の現代社会に的確に対応できるよう専門の知識技術を授けるとともに、一般教養を高めるよう指導し、社会有用の人材を養成することを目的とする。

3. 令和6年度事業内容 (本校の過程・学科・修業年限・開講科目)

【課程名】 ビジネス専門課程	【学科名】 情報実務学科	【就業年限】 2年制 4月期入学
【定員】 入学定員 120名・総定員 240名		【取得資格】 専門士 (Diploma)
【設置コース】		
● IT・ビジネスコース		
● ホテル・ブライダルコース		
● 英語スペシャリストコース		
※希望者無しのため令和6年度は未開講となる。		

【授業内容】

● 共通科目

(PC スキル)

- ・ Windows 基礎 ・ アプリケーション基礎 (Word/Excel/PowerPoint)
- ・ 情報リテラシー 等

(日本語分野)

- ・ 文字 ・ 語彙 ・ 文法 ・ 読解 ・ 日本事情理解
- ・ 日本文化 ・ 日本語試験対策講座 等

(ビジネス分野)

- ・ ビジネスマナー ・ 一般常識講座 ・ キャリア講座
- ・ マーケティング ・ 経済 ・ 簿記 等

● 専攻科目

(IT・ビジネスコース)

- ・ Word ・ EXCEL ・ PowerPoint ・ 情報リテラシー ・ 最新 IT 技術動向
- ・ オフィス実務 ・ ネットワーク ・ プログラミング 等

(ホテル・ブライダルコース)

- ・ レストランサービス ・ バンケットオペレーション ・ フロントオフィス
- ・ ブライダル実務 ・ ホテル総論 等

4. 年間実施行事

- 4月 入学式 (9日)・新入生オリエンテーション (10・11日) 前期授業開始 (15日～)
- 5月 全生徒・職員健康診断 (1・2日)
- 7月 博物館・プラネタリウム見学 (9日)
特別集中講義開講 (16～19日・最終日はテスト) 夏休み (22日～翌月18日)
- 9月 前期授業終了 (～6日) 前期定期試験 (9日～13日)
前期補習・補講実施 (26日～翌月11日まで)
- 10月 前期再試験 (1日) 後期授業開始 (13日～)
- 11月 学年遠足：奈良歴史文化探索授業 (10日)
- 12月 合同就職説明会 (6日) 冬休み (23日～翌月4日)
- 2月 後期授業終了 (～10日) 後期定期試験 (12日～18日)
後期補習・補講実施 (28日～翌月28日)
- 3月 後期再試験実施 (5日～7日) 卒業式 (19日) 春休み (6日～翌月13日)

5. 生徒数推移と構成・生徒募集実績

●令和6年度生徒数推移（R6.4.1：期初～R7.3.31 期末）

1年生	出身国	R6.4.1（期初）	構成比	R7.3.31（期末）	構成比	差異（人）
コンピュータ 技術者 コース	ネパール	84	66%	80	67%	-4
	スリランカ	14	11%	12	10%	-2
	ベトナム	1	1%	1	1%	0
	バングラディッシュ	2	2%	2	2%	0
	合計	101	80%	95	79%	-6
ホテル コース	ネパール	25	20%	24	20%	-1
	ベトナム	1	1%	1	1%	0
	合計	26	20%	25	21%	-1
1年生合計		127	100%	120	100%	-7

2年生	出身国	R6.4.1（期初）	構成比	R7.3.31（期末）	構成比	差異（人）
コンピュータ 技術者 コース	ネパール	3	18%	2	15%	-1
	ベトナム	1	6%	1	8%	0
	合計	4	24%	3	23%	-1
ホテルコース	ネパール	13	76%	10	77%	-3
2年生合計		17	100%	13	100%	-4

● 期内退学者等内訳（11名）

- ・結婚等にて留学ビザから家族ビザへ変更し退学 2名
- ・学歴が大学既卒・専門既卒にて日本で就職決定し退学 3名
- ・母国へ帰国（家族の療養介護・結婚等） 3名
- ・進路変更にて他校へ（自動車関連専門学校） 1名
- ・結婚し他国移住へ 1名
- ・妊娠にて母になるため退学 1名

令和6年度に関しては、本校学生は全て外国籍の外国人留学生。本年卒業を迎えた2年生は新型コロナウイルスの世界的な流行に伴う出国の規制や自粛の影響を受け、定員大きく下回る中での学校運営の中での学生であり、コロナ禍中の講義では ZOOM など遠

隔機器を用いた講義展開を行うなど困難を乗り越え13名が卒業を果たした。

令和6年度入学した1年生に関してはコロナ終息後のゆり戻しの留学需要の急増により定員充足、出身国別ではネパールからの留学生の比率が高い。生徒募集は東海圏にとどまらず、全国の日本語学校へ募集活動を行うことで間口拡大に努めている。

● 令和6年度生徒募集施策とオープンキャンパス・説明会・全国入試の充実化

年間を通じて全国の日本語学校等を訪問し、各学校の先生方と顔が見えたお付き合いの中で、対話を重ね、それぞれの留学生の事情に鑑みて、手厚い入学相談を繰り返してきてきた。

オープンキャンパスは年内7回実施。また、遠隔地からの希望者、又、当方からのアプローチにより、オンラインでの相談会も積極的に開催（実績28回、総勢37名）。全国の希望者や日本語学校の先生方もオンラインを通じて多数参加して頂いた。

オープンキャンパス参加者は特典として受験料を1万円減免する制度を新設し、令和6年度より実験的に先行実施（令和7年度も実施予定）。さらに、遠隔地の留学生に対応するため、全国各地に出向き、出張形態での入試の実施も前年度に続き継続して行い、入試実施の回数を増加させ、留学生の負担軽減、入学間口拡大を図った。

本学留学生の出身国構成としては、令和6年度の1年生はネパール人留学生の割合が引き続き高いものの、学生募集において、スリランカ人留学生やベトナム人留学生など他国の留学生に強い日本語学校等と積極的に連携を行うことで、各国事情や情報収集に努めている。また、在籍生や卒業生からの紹介制度を強化し、留学生のネットワークの活用も行い間口を広げた。次年度もカントリーリスクなども意識しながら留学生の出身国均衡化を図っていくものの、学校運営とのバランスには留意していく。

6. 職員構成

区分	職名	R6年度実績	R7年度体制
正規職員	学校長	1	1
	副校長	1	0
	教員	4	4
	学校事務	2	2
非正規職員	教員	10	16
計		18	23

※出向者を含む

7. 就職先一覧

●卒業生内訳

・IT・ビジネスコース	3名
・ホテル・ブライダルコース	10名
計	13名

- ・就職者 11名
- ・非就職者 2名（家族ビザ変更：1名・特定活動ビザ：1名）

●令和6年度就職先一覧

- ・株式会社ベジコープ（携帯電話販売）
- ・三和セルロシン（製造業）
- ・株式会社リゾートライフ（ホテル/宿泊業）
- ・Family Mart（販売業・FC店舗）
- ・猿ヶ京温泉（ホテル/宿泊業）
- ・株式会社アット（人材派遣業）
- ・株式会社K.E.I（リサイクル業）
- ・ホテル川久（ホテル/宿泊業）
- ・鳥羽シーサイドホテル（ホテル/宿泊業）
- ・ホテル晴海（ホテル/宿泊業）
- ・株式会社G.K.S（Café/飲食業）

一般的に留学生の就職率は40%台と言われる中、本学においては、近年約90%前後の就職率を保っている。しかしながら、学生の就職への意識低下を感じる面があり、現状の就職指導や就職関連カリキュラムに加えて、外部機関の留学生就職機関を招いた特別講義の実施、外部説明会の参加などにより学生の就職への意識全般を高めていった。

令和6年度も教員とともに外部の合同企業説明会・面接会に参加、今後も積極的に参加をしてゆく。加えて、優秀で意識が高い学生には、外部機関に企業と学生のマッチングも依頼、内定につながっている。この施策は令和7年度も継続する予定。

また令和6年度からの新たな施策として、グループ内の関連会社活用や連携から、就職アドバイス、マッチングなどを行い、今後も引き続き積極的に連携し、学生の就職意欲の向上や選択肢の広がりを図っていく。

7. 施設補修・契約変更等

●本校（パークサイドビル）

- ・6階603教室空調機取換工事（6月）
経年劣化による故障にて本体を取り換え。
- ・法人合併
学校法人倉橋学園と伊達育英会の合併（12月）
- ・区分所有権の売却と定期賃貸借契約の締結（3月）
係争事案であった、パークサイドビルの5.6階の区分所有権をオーナーである堀木氏に売却。本校に関しては向こう3年間の定期賃貸借契約を締結。（前回理事会付議事項）

●中部校舎

- ・ネットワーク整備工事（2月）
令和7年度の講義からの本格運用に向け、ネットワークの新規契約、及び館内ネットワーク工事を実施。これにより7年度から、本校のみであったPCの講義を中部校舎で実施可能となった。
- ・4階教室設備工事（3月）
これまで職員エリアとして使用していた4階部分を生徒数増加の受け入れとして、教室に変更。机等学習備品の購入と、プロジェクター設備の取り付けを行う。
- ・5階職員エリア増設工事（3月）
これまで倉庫として使用していた5階エリアを小面積の職員室ヘリノベーション。コンクリートそのままの部屋の中に小部屋の造作をすることにより、空調機も家庭用のものが使用可能で、工事費を安価に抑えることが可能となった。

8. 令和7年度に関して

●令和7年度生徒数（2025年4月1日現在）

令和6年度の生徒募集による、7年度の入学者は計106名。2年生の120名の留学生と合わせて7年度は本校過去最大の226名の生徒数となる。元々は定員120名を目指して募集活動を行ったが、R6年度新入生がコロナ明けの大量卒業にて、母数の大きな増加で、本校の志望者数もとても多いものとなったが、逆にその反動がこの1年間はあり、母数は減少。年度ギリギリまで追加入試、募集を行い、計106名の入学者となった。

●生徒数内訳一覧（2025年4月1日現在）

	出身国	1年生	構成比	2年生	構成比
IT ビジネス コース	ネパール	62	58%	80	67%
	スリランカ	17	16%	12	10%
	ベトナム	5	5%	1	1%
	バングラディッシュ	2	2%	2	2%
	合計	86	81%	95	79%
ホテル コース	ネパール	18	17%	24	20%
	ベトナム	0	0%	1	1%
	スリランカ	1	1%		
	ミャンマー	1	1%		
	合計	20	19%	25	21%
1年生合計		106	100%	120	100%

令和7年度に向けての課題やその施策は前回理事会ご報告の通りです。

以 上

